



京都ウォーキングだより

NPO法人 京都府ウォーキング協会 (NPO Kyoto Walking Association)

〒600-8148 京都市下京区東洞院通り七条上ル飴屋町249 木村ビル2階

KWA事務所 (休日:火・木・土・日曜日、祝日と協会指定日) 開所時間:10:00-16:00

電話:075-353-6464 ファックス:075-352-4600 郵便振替口座:00950-3-78401

ホームページ <http://www.kyoto-kwa.com>

編集人 西田 猛

メール連絡は、上記ホームページからアクセス下さい



フォトで巡る2025年の話題例会

シリーズ: 京で信念を貫いた女たち

宮川町 歌舞練場

祇園の芸妓・村山たか女

華開院

将軍足利義政の妻・日野富子

新島家住居

新島(山本)八重

特徴ある月例会

流れ橋

木津川流れ橋から石清水八満宮

渡月橋

京都難読地名を巡る

みすや針店

京のわらべうたを歩く

仁丹町名表示版を探そう

ミステリーウォーク

日本最長吊橋 ザ・ブリッジ

ファミリーコース 1月19日(日) 10時~

巳年ゆかいの弁天様詣で

2025年の干支は、乙巳(きのとみ)です。60年周期の干支の中で42番目で「努力を重ね、物事を安定させていく」年とされています。弁財天の使者の蛇ゆかりの社寺をめぐる、ご利益を頂きましょう。

受付: 9:30~10:00
JR嵯峨野線・二条駅(梅尾公園)

ゴール:14:00頃 北大路駅
コース: 梅尾公園(JR二条駅)~神泉苑~京都御苑・巖島神社~京都御苑・白雲神社~出町妙音堂~下鴨神社・言社~玄武神社~地下鉄・北大路駅

参加費:
会員 無料
他協会 300円
一般 500円

巖島神社 (京都御苑)

第13回京都ツートレーウォークの事前申し込みは、1月20日が締め切りです。お忘れなく!!

月例会のお知らせ

健脚 22^{キロ} ファミリー13^{キロ} 1月26日(日)
都大路一周ウォーク



2024年に実施して、好評だった例会の再チャレンジウォークです。都大路の外周を西大路通り、北大路通り、東大路通りから九条通りを昨年とは逆回りでぐるりと回ります。お手軽の半周コースもあります。今年のウォークの力試しをして、自信を付けましょう。

受付：9:30~10:00

JR嵯峨野線・梅小路京都西駅

ゴール：JR梅小路京都西駅 15:00頃

コース：JR梅小路京都西駅~西大路通り~西大

路四条(13^{キロ}分岐)~金閣寺~北大路通り~船岡山公園~高野~東大路通り~祇園(13^{キロ}合流)~九条跨線橋~東寺~大宮通り~JR梅小路京都西駅

参加費：

会員 無料

他協会 300円

一般 500円



東寺

ファミリーコース 2月9日(日) 10^{キロ}



京で信念を貫いた女たち① 祇園下河原の芸妓・村山たか女

今年のシリーズウォークは、京で信念を貫いた女たちと題して、強く生きた女性3人に焦点を当て、ゆかりの地を巡ります。

第一弾は、祇園の芸妓としての経験を生かし井伊直助と参謀・長野主膳のスパイとして、尊皇攘夷派・討幕派の情報収集に当たり波乱の生涯を送った村山たか女の生きた花街を巡ります。

受付：9:30~10:00

JR京都駅中央口駅前広場

ゴール：14:00頃 JR京都駅

コース：JR京都駅~五条楽園~宮川町舞練場

~祇園甲部歌舞練場~先斗町歌舞練場~三本木町~京都御苑・御所・堺町御門~地下鉄・丸太町駅

参加費：

会員 無料

他協会 300円

一般 500円



先斗町
歌舞練場

例会の活動報告

健脚コース

京の三弘法めぐり 晴

日時：12月8日(日)

参加人数：146名 距離：20^{キロ}

担当：池内リーダー

今年最後の健脚コース。張り切って元気よく、自由歩行で順次出発。猛暑日の続いた後の短い秋を惜しむように、通りのあちこちに、季節外れの紅葉が見られ心地よく歩を進めました。三弘法の最初のお寺「西賀茂の弘法さん」を参拝。入口にも境内にも、もみじが散在。その境内で、「弘法さん」のお話をする KWA の語り部さんから久しぶりに聞く

心地よい口調に心癒され、「きぬかけの路」を進みました。長くゆるやかな下りの道を進み、「仁和寺」に到着。有料行列の横を抜け境内を参拝した後、長い佐井通りを南下。途中の三条坊町児童公園で昼食休憩を取りさらに南下していると、雨が降り出し、急ぎ足で最後の東寺に到着。弘法めぐりと紅葉めぐりを一緒に、楽しんだ一日となりました。



神光院で語り部のお話

平日コース

伏見・深草 悲恋・横恋慕W

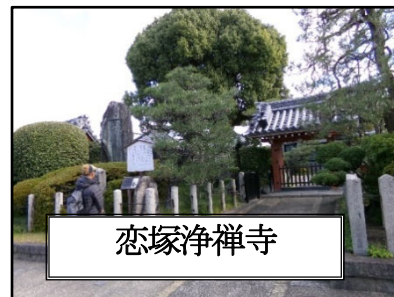
日 時：12月12日(木) 晴れ

参加人数：160名 距離：12*_□

担 当：森リーダー

「悲恋・横恋慕」ウォークの朝、藤森神社の境内に集合。受付後、順次出発、伏見街道、墨染通りを経て、百夜通い伝説のある深草少将と小野小町の悲恋の屋敷跡であった「欣浄寺」を参拝。お寺のご厚意により、扉を開けて頂き、本堂の深草大仏を参拝することが出来ました。感謝感激して、先に進み、1957年創業の伏見の料亭「清和荘」の前に到着、門前に、「近藤勇遭難の地」を見、伏見地区の歴史の重さを感じました。別名「鳥羽地蔵」と呼ばれている「恋塚浄禅寺」に到着。平安末期に、北面武士・遠藤盛遠の横恋慕で、誤って死なせてしまった「袈裟御前」の恋塚を参拝。「あわれさ」を嘯みしめながら進み、鳥羽離宮跡公園で昼食後、盛遠が出家して僧・「文覚」となり建てられた袈裟御前の眠っている恋塚がありまし

た。その後、坂本龍馬が襲撃された寺田屋から源頼朝の3人の子供今若・乙若・牛若を連れて逃避中の常盤御前が平家に捕らわれた「常磐就捕処」碑を横に見て、伏見奉行所跡碑近くに無事ゴールしました。悲恋・横恋慕に加え、常盤御前、小野小町、文覚、袈裟御前、寺田屋、鳥羽伏見戦勃発の地 等と、古く長い歴史の町「伏見」を思いっきりタイムトラベルをして来ました。



恋塚浄禅寺

ビギナーコース

嵐山から嵯峨野 池めぐり

日 時：12月14日(土) 小雨

参加人数：50名 距離：8*_□

担 当：依田リーダー

お日様が顔を出したり、隠れたり不安定な空模様を気にしながら、JR嵯峨嵐山駅に参集しました。

寒さで固くなった体をストレッチでほぐした後、降り出した小雨の中、急いで雨具を装着して出発しました。竹林の径を進むにつれ人混みを分けながら、野宮神社に到着しました。さらに竹林の径を進み、大河内山荘前から小倉池に到着しました。落柿舎、長神の杜、二尊院、清涼寺とめぐりところどころで遅れていた紅葉の嵯峨野の秋を満喫して大覚寺に着きました。トイレと、水分補給の後、小雨の千代の古道を進み児神社に到着。SNSなどで縁結びのご利益があると言われている「ハートストーン」を拝みました。その前の広沢の池では、京の冬の風物詩「鯉上げ」が行われていて、4月の稚魚が放流され、12月に大きく育った鯉を池の水を抜いて、捕獲されて販売されていました。水のすっきり抜かれた池を巡り、池畔の広沢

池公園で休憩後、JR太秦駅にゴールしました。小雨の中、しっとり濡れた嵯峨野の遅い秋を楽しみました。



千代の古道

例会の活動報告

特別基地第223回 「東寺終い弘法」ウオーク

日 時：12月21日(土) 晴れ
参加人数：190名 距離：10*
担 当：竹中リーダー

今季最寒日でしたが、昨年並みの参加者を頂きました。JR京都駅を出発し西寺跡に到着、各自 IVVを得て、東寺の弘法市に向かいました。東寺西門前の「おはぎ巴屋」の前には、例会参加者も含めて長い行列が今年も出来ていました。

境内に入ると参拝客があふれており、様々な出店が並び、コロナ禍以前のにぎわいに完全に戻ったとのことでした。長い行列が出来ている出店が目立ち、ウオーク参加者の中には、お目当てのお店で袋一杯の品物を購入していました。

特に「お正月関連商品」の出店では、花木、お飾

り、そして乾物などを求めるお客が溢れていました。時折暖かい日差しも漏れ、熱気にあふれた弘法市に、参加者は楽しまれていました。



西寺跡で
IVVを手渡し



境内風景

お知らせ

令和6年度 通常総会のお知らせ

日 時：2025年3月9日(日) 14:00ごろ開始
会 場：ひとまち交流館 京都 (075-354-8711)

ビギナーコース 六勝寺と白川沿いウオーク

日 時：2025年1月25日(土)
受 付：9:30~10:00 京阪・神宮丸太町駅
ゴール：13:00頃 京阪・祇園四条駅
コース：京阪・神宮丸太町駅~尊勝寺跡碑~延勝寺跡碑~法勝寺跡碑~白川沿い~辰巳大明神~京阪・祇園四条駅
距離：6* 参加費：300円

第120回ふれあいうオーキング教室

日 時：2025年2月13日(木)
集 合：9:30 集合場所：JR京都駅中央口駅前広場
教 室：NPO 法人京都府ウォーキング協会事務所など 受講費：1000円
申込先：NPO 法人京都府ウォーキング協会 電話：075-353-6464 ファックス：075-352-4600
※受講希望者は、2月6日(一週間前)までに協会事務局にお申込みください。

会員を増やそう!

一緒に歩く仲間を一人でも増やすことが、KWAの健全な運営に必要です。お友達やご近所の方に声を掛けましょう。

会員数 393名 (12月25日現在)

あとがき

明けましておめでとうございます。一年の計は元旦にありと言われています。中国に由来する表現で、何事も最初が肝心を意味していますが、今年のウォーキングの目標は決まりましたか?

《編集 阿部・中川・西田》